

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																														
		現 行																																																																																														
現 行		改 正	備 考																																																																																													
3-18 現場打天端コンクリート (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 40 現場打天端コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>生コンクリート規格</th><th>養生工の種類</th></tr><tr><td rowspan="3">(表 3. 34)</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭)</td></tr><tr><td>養生工なし</td></tr></table> (注) 1. 上表は、現場打天端コンクリートにおけるコンクリート打設、型枠、養生、はく離材塗布、クレン作業の施工の他、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリートパイプレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07） 3. 特殊養生（ジェットヒータ養生）の場合は、養生工の種類を「養生なし」として、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上すること。 4. 目地材は必要に応じて「第Ⅱ編第2章⑨目地・止水板設置工」により別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 41 現場打天端コンクリート 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> Ⅱ-2-③-26		生コンクリート規格	養生工の種類	(表 3. 34)	一般養生	特殊養生(練炭)	養生工なし	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	型わく工		R 2	普通作業員		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 41 現場打天端コンクリート 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量山積0.8m3(平積 0.6m3)吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量山積0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	型わく工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
生コンクリート規格	養生工の種類																																																																																															
(表 3. 34)	一般養生																																																																																															
	特殊養生(練炭)																																																																																															
	養生工なし																																																																																															
項目	代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料																																																																																													
	K 2	—																																																																																														
	K 3	—																																																																																														
労務	R 1	型わく工																																																																																														
	R 2	普通作業員																																																																																														
	R 3	特殊作業員																																																																																														
	R 4	土木一般世話役																																																																																														
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																														
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																														
	Z 3	—																																																																																														
	Z 4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
項目	代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量山積0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																													
	K 2	—																																																																																														
	K 3	—																																																																																														
労務	R 1	型わく工																																																																																														
	R 2	普通作業員																																																																																														
	R 3	土木一般世話役																																																																																														
	R 4	特殊作業員																																																																																														
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																														
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																														
	Z 3	—																																																																																														
	Z 4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 13／17																																																																																													

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																														
		現 行	改 正																																																															
3-19 プレキャスト基礎ブロック (1) 条件区分 プレキャスト基礎ブロックの積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. プレキャスト基礎ブロックにおけるブロックの設置、連結等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、プレキャスト基礎ブロック（材料費）は含まない。 2. 中詰コンクリートを打設する場合は、材料費・打設手間を別途計上する。 3. 基礎材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2章②基礎・裏込砕石工」により別途計上する。 4. 目地材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2章⑨目地・止水板設置工」により別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																														
表3. 42 プレキャスト基礎ブロック 代表機労材規格一覧		表3. 42 プレキャスト基礎ブロック 代表機労材規格一覧																																																																
<table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr></table>		項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 運転手（特殊）		R 3 特殊作業員		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 —		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		<table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr></table>		項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力 2.9t	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 運転手（特殊）		R 3 特殊作業員		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 —		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料																																																																
	K 2 —																																																																	
	K 3 —																																																																	
労務	R 1 普通作業員																																																																	
	R 2 運転手（特殊）																																																																	
	R 3 特殊作業員																																																																	
	R 4 土木一般世話役																																																																	
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z 2 —																																																																	
	Z 3 —																																																																	
	Z 4 —																																																																	
市場単価	S —																																																																	
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] バケット容量山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力 2.9t	賃料																																																																
	K 2 —																																																																	
	K 3 —																																																																	
労務	R 1 普通作業員																																																																	
	R 2 運転手（特殊）																																																																	
	R 3 特殊作業員																																																																	
	R 4 土木一般世話役																																																																	
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z 2 —																																																																	
	Z 3 —																																																																	
	Z 4 —																																																																	
市場単価	S —																																																																	
3-20 プレキャスト基礎ブロック（材料費） (1) 条件区分 プレキャスト基礎ブロック（材料費）の積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。		現行どおり																																																																
Ⅱ-2-③-27																																																																		
積算上の注意事項				(控え頁) 14／17																																																														

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																									
現 行				改 正				備 考																																																																																									
3-21 プレキャスト小口止ブロック (1) 条件区分 プレキャスト小口止ブロックの積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. プレキャスト小口止ブロックにおけるブロックの設置、連結等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、プレキャスト小口止ブロック（材料費）は含まない。 2. 中詰コンクリートを打設する場合は、材料費・打設手間を別途計上する。 3. 基礎材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2章②基礎・裏込砕石工」により別途計上する。 4. 目地材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2章⑧目地・止水板設置工」により別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 43 プレキャスト小口止ブロック 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> 3-22 プレキャスト小口止ブロック（材料費） (1) 条件区分 プレキャスト小口止ブロック（材料費）の積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手（特殊）		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 43 プレキャスト小口止ブロック 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> 現行どおり				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手（特殊）		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	運転手（特殊）																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	土木一般世話役																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	運転手（特殊）																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	土木一般世話役																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
積算上の注意事項		(控え頁) 15／17																																																																																															

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																																										
現 行		改 正	備 考																																																																																									
3-23 プレキャスト横帯（隔壁）ブロック (1) 条件区分 プレキャスト横帯（隔壁）ブロックの積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. プレキャスト横帯（隔壁）ブロックにおけるブロックの設置、連結等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック（材料費）は含まない。 2. 中詰コンクリートを打設する場合は、材料費・打設手間を別途計上する。 3. 基礎材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2章②基礎・裏込砕石工」により別途計上する。 4. 目地材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2章⑩目地・止水板設置工」により別途計上する。 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 <table><caption>表3.44 プレキャスト横帯(隔壁)ブロック 代表機材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3-24 プレキャスト横帯（隔壁）ブロック（材料費） (1) 条件区分 プレキャスト横帯（隔壁）ブロック（材料費）の積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 Ⅱ-2-③-29		項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手（特殊）		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		現行どおり (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 <table><caption>表3.44 プレキャスト横帯(隔壁)ブロック 代表機材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 現行どおり		項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量 山積 0.8m3（ 平積 0.6m3 ）吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手（特殊）		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）
項目		代表機材規格	備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料																																																																																									
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	運転手（特殊）																																																																																										
	R 3	特殊作業員																																																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																																																										
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目		代表機材規格	備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量 山積 0.8m3（ 平積 0.6m3 ）吊能力 2.9t	賃料																																																																																									
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	特殊作業員																																																																																										
	R 3	運転手（特殊）																																																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																																																										
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
積算上の注意事項			（控え頁） 16／17																																																																																									

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																									
現 行				改 正				備 考																																																																																									
3－25 プレキャスト巻止ブロック (1) 条件区分 プレキャスト巻止ブロックの積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. プレキャスト巻止ブロックにおけるブロックの設置、連結等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、プレキャスト巻止ブロック（材料費）は含まない。 2. 中詰コンクリートを打設する場合は、材料費・打設手間を別途計上する。 3. 基礎材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2 章②基礎・裏込砕石工」により別途計上する。 4. 目地材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2 章⑱目地・止水板設置工」により別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 45 プレキャスト巻止ブロック 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料	K 2	－		K 3	－		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手（特殊）		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	－		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 45 プレキャスト巻止ブロック 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料	K 2	－		K 3	－		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手（特殊）		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	－		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料																																																																																														
	K 2	－																																																																																															
	K 3	－																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	運転手（特殊）																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	土木一般世話役																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 2	－																																																																																															
	Z 3	－																																																																																															
	Z 4	－																																																																																															
市場単価	S	－																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料																																																																																														
	K 2	－																																																																																															
	K 3	－																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	運転手（特殊）																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	土木一般世話役																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 2	－																																																																																															
	Z 3	－																																																																																															
	Z 4	－																																																																																															
市場単価	S	－																																																																																															
II-2-③-30																																																																																																	
積算上の注意事項								(控え頁) 17／17																																																																																									

工 種	石積(張)工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正		現 行																																																																																																	
		現 行																																																																																																			
現 行		改 正			備 考																																																																																																
表3. 4 裏込材規格 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="5">裏 込 材 規 格</td><td>再生クラッシャラン RC-40</td></tr><tr><td>再生クラッシャラン RC-80</td></tr><tr><td>クラッシャラン C-40</td></tr><tr><td>クラッシャラン C-80</td></tr><tr><td>各 種</td></tr></table> (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 5 石積(緑石)(複合) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>石工</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>再生クラッシャラン RC-40</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> II-2-①-5		積算条件	区分	裏 込 材 規 格	再生クラッシャラン RC-40	再生クラッシャラン RC-80	クラッシャラン C-40	クラッシャラン C-80	各 種	項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	石工		R4	特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	再生クラッシャラン RC-40		Z3	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 5 石積(緑石)(複合) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) バケット容量 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>石工</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>再生クラッシャラン RC-40</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)			項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) バケット容量 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	石工		R4	特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	軽油 バトロール給油		Z3	再生クラッシャラン RC-40		Z4	—		市場単価	S	—		
積算条件	区分																																																																																																				
裏 込 材 規 格	再生クラッシャラン RC-40																																																																																																				
	再生クラッシャラン RC-80																																																																																																				
	クラッシャラン C-40																																																																																																				
	クラッシャラン C-80																																																																																																				
	各 種																																																																																																				
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																		
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t 吊	賃料																																																																																																		
	K2	—																																																																																																			
	K3	—																																																																																																			
労務	R1	普通作業員																																																																																																			
	R2	運転手(特殊)																																																																																																			
	R3	石工																																																																																																			
	R4	特殊作業員																																																																																																			
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																			
	Z2	再生クラッシャラン RC-40																																																																																																			
	Z3	軽油 バトロール給油																																																																																																			
	Z4	—																																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																																			
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																		
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) バケット容量 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t 吊	賃料																																																																																																		
	K2	—																																																																																																			
	K3	—																																																																																																			
労務	R1	普通作業員																																																																																																			
	R2	運転手(特殊)																																																																																																			
	R3	石工																																																																																																			
	R4	特殊作業員																																																																																																			
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																			
	Z2	軽油 バトロール給油																																																																																																			
	Z3	再生クラッシャラン RC-40																																																																																																			
	Z4	—																																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																																			
積算上の注意事項					(控え頁) 1／5																																																																																																

工 種	石積(張)工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																										
現 行				改 正		備 考																																																																																																								
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 9 石張(複合) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>石工</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td>裏込材が有りの場合</td></tr><tr><td>Z3</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3-3 石積(張) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 <table><caption>表3. 10 石積(張) 積算条件区分一覧</caption><tr><th colspan="3">(積算単位：m2)</th></tr><tr><th>積張の区分</th><th>構造区分</th><th>石の種類</th></tr><tr><td rowspan="2">積工</td><td rowspan="2">練石</td><td>玉石</td></tr><tr><td>雑割石</td></tr><tr><td rowspan="3">張工</td><td rowspan="2">練石</td><td>玉石</td></tr><tr><td>雑割石</td></tr><tr><td>空石</td><td>玉石</td></tr></table> (注) 1. 上表は、石積(張)工における石材の設置、据付時の石材の微調整、水抜パイプ(水抜き用吸出し防止材含む)の設置、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、現場内小運搬(バケット作業)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。 2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「第Ⅱ編第2章⑩吸出し防止材設置工」により別途計上する。 3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。 4. 水抜きパイプ・吸出し防止材の材料費は、別途計上する。 Ⅱ-2-④-7				項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	石工		R4	土木一般世話役		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合	Z3	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		(積算単位：m2)			積張の区分	構造区分	石の種類	積工	練石	玉石	雑割石	張工	練石	玉石	雑割石	空石	玉石	(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 9 石張(複合) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 バケット容量山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>石工</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td>裏込材が有りの場合</td></tr><tr><td>Z3</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 現行どおり		項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 バケット容量 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	石工		R4	土木一般世話役		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合	Z3	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																											
機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																											
	K2	—																																																																																																												
	K3	—																																																																																																												
労務	R1	普通作業員																																																																																																												
	R2	運転手(特殊)																																																																																																												
	R3	石工																																																																																																												
	R4	土木一般世話役																																																																																																												
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																												
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合																																																																																																											
	Z3	軽油 バトロール給油																																																																																																												
	Z4	—																																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																																												
(積算単位：m2)																																																																																																														
積張の区分	構造区分	石の種類																																																																																																												
積工	練石	玉石																																																																																																												
		雑割石																																																																																																												
張工	練石	玉石																																																																																																												
		雑割石																																																																																																												
	空石	玉石																																																																																																												
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																											
機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 バケット容量 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																											
	K2	—																																																																																																												
	K3	—																																																																																																												
労務	R1	普通作業員																																																																																																												
	R2	運転手(特殊)																																																																																																												
	R3	石工																																																																																																												
	R4	土木一般世話役																																																																																																												
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																												
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合																																																																																																											
	Z3	軽油 バトロール給油																																																																																																												
	Z4	—																																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																																												
積算上の注意事項						(控え頁) 2／5																																																																																																								

工 種	石積(張)工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																							
現 行				改 正				備 考																																																																																																					
(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 11 石積(張) 代表機勞材規格一覧</caption><table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機勞材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・積工の場合</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・張工の場合</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>石工</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table></table> 3-4 石積(張)(材料費) (1) 条件区分 石積(張)(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 (注) 1. 石積(練石)(複合)は、控長 35cm のみ適用出来る。 2. 石張(複合)は、玉石のみ適用出来る。 3-5 胴込・裏込コンクリート (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 <table><caption>表3. 12 胴込・裏込コンクリート 積算条件区分一覧</caption><table><tr><th colspan="2">積張の区分</th><th>胴込・裏込コンクリート規格</th></tr><tr><td colspan="2">積工</td><td rowspan="2">(表 3.3)</td></tr><tr><td colspan="2">張工</td></tr></table></table> (注) 1. 上表は、石積(張)工における胴込・裏込コンクリートの打設の他、コンクリートバケット損料、パイプレータ損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全て機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 基礎コンクリート、小口止コンクリート、横帯(隔壁)コンクリート及び天端コンクリートは、「第Ⅱ編第2章③コンクリートブロック積(張)工」による。 3. 胴込コンクリート量は、玉石の場合は面積に控長の1/3を、雑割石の場合は1/2を乗じたものとする。 4. 養生が必要な場合には、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」による。 5. 胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.16) Ⅱ-2-④-8				項目		代表機勞材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	石工		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		積張の区分		胴込・裏込コンクリート規格	積工		(表 3.3)	張工		(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 11 石積(張) 代表機勞材規格一覧</caption><table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機勞材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 バケット容量山積0.28m3 (平積0.2m3) 吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・積工の場合</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 バケット容量山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・張工の場合</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>石工</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table></table> 現行どおり				項目		代表機勞材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 バケット容量山積0.28m3 (平積0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型)〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 バケット容量山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	石工		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機勞材規格	備考																																																																																																										
機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																																										
		バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																																										
	K2	—																																																																																																											
	K3	—																																																																																																											
労務	R1	普通作業員																																																																																																											
	R2	運転手(特殊)																																																																																																											
	R3	石工																																																																																																											
	R4	土木一般世話役																																																																																																											
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																											
	Z3	—																																																																																																											
	Z4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
積張の区分		胴込・裏込コンクリート規格																																																																																																											
積工		(表 3.3)																																																																																																											
張工																																																																																																													
項目		代表機勞材規格	備考																																																																																																										
機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 バケット容量山積0.28m3 (平積0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																																										
		バックホウ(クローラ型)〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕 バケット容量山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																																										
	K2	—																																																																																																											
	K3	—																																																																																																											
労務	R1	普通作業員																																																																																																											
	R2	運転手(特殊)																																																																																																											
	R3	石工																																																																																																											
	R4	土木一般世話役																																																																																																											
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																											
	Z2	—																																																																																																											
	Z3	—																																																																																																											
	Z4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
積算上の注意事項				(控え頁) 3/5																																																																																																									

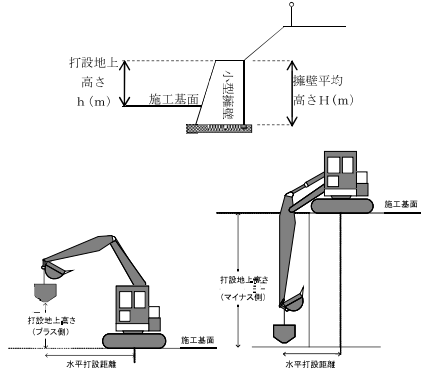
工 種	石積(張)工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																																														
現 行		改 正	備 考																																																																																													
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 13 胴込・裏込コンクリート 代表機労材規格一覧</caption><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・積工の場合</td></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・張工の場合</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25（20）W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目	代表機労材規格		備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手（特殊）		R4	—		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20）W/C 60%		Z2	軽油 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 13 胴込・裏込コンクリート 代表機労材規格一覧</caption><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 バケット容量山積0.28m3（平積0.2m3）吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・積工の場合</td></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 バケット容量山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・張工の場合</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25（20）W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目	代表機労材規格		備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 バケット容量山積0.28m3（平積0.2m3） 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 バケット容量山積0.8m3（平積0.6m3） 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手（特殊）		R4	—		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20）W/C 60%		Z2	軽油 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目	代表機労材規格		備考																																																																																													
機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																													
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																													
	K2	—																																																																																														
	K3	—																																																																																														
労務	R1	普通作業員																																																																																														
	R2	特殊作業員																																																																																														
	R3	運転手（特殊）																																																																																														
	R4	—																																																																																														
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20）W/C 60%																																																																																														
	Z2	軽油 バトロール給油																																																																																														
	Z3	—																																																																																														
	Z4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
項目	代表機労材規格		備考																																																																																													
機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 バケット容量山積0.28m3（平積0.2m3） 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																													
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 バケット容量山積0.8m3（平積0.6m3） 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																													
	K2	—																																																																																														
	K3	—																																																																																														
労務	R1	普通作業員																																																																																														
	R2	特殊作業員																																																																																														
	R3	運転手（特殊）																																																																																														
	R4	—																																																																																														
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20）W/C 60%																																																																																														
	Z2	軽油 バトロール給油																																																																																														
	Z3	—																																																																																														
	Z4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
3-6 裏込材（クラッシュラン） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 <table><caption>表3. 14 裏込材(クラッシュラン) 積算条件区分一覧</caption><tr><th colspan="2">(積算単位：m3)</th></tr><tr><th>積張の区分</th><th>裏込材規格</th></tr><tr><td>積工</td><td rowspan="2">(表 3.4)</td></tr><tr><td>張工</td></tr></table> (注) 1. 上表は、石積(張)工における裏込材（クラッシュラン）の設置の他、締固め機械等の損料、油脂類の費用、振動コンパクタによる締固め作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 空石張の胴込材の量は、面積に玉石の控長の1／3を乗じたものとする。 3. 裏込材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.18) II-2-④-9		(積算単位：m3)		積張の区分	裏込材規格	積工	(表 3.4)	張工	現行どおり																																																																																							
(積算単位：m3)																																																																																																
積張の区分	裏込材規格																																																																																															
積工	(表 3.4)																																																																																															
張工																																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 4／5																																																																																													

工 種	石積(張)工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																													
現 行		現 行																																																																																													
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 15 裏込材(クラッシュラン) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K1</td><td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・積工の場合</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・張工の場合</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	—		R4	—		材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40		Z2	軽油 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 15 裏込材(クラッシュラン) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K1</td><td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 バケット容量山積0.28m3(平積0.2m3)吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・積工の場合</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)】 バケット容量山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・張工の場合</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>	項目		代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 バケット容量山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型)【標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)】 バケット容量山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	—		R4	—		材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40		Z2	軽油 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機労材規格	備考																																																																																												
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																												
		バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																												
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																													
	R2	運転手(特殊)																																																																																													
	R3	—																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																													
	Z2	軽油 バトロール給油																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
項目		代表機労材規格	備考																																																																																												
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)】 バケット容量山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																												
		バックホウ(クローラ型)【標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)】 バケット容量山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																												
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																													
	R2	運転手(特殊)																																																																																													
	R3	—																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																													
	Z2	軽油 バトロール給油																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
II-2-①-10																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 5／5																																																																																												

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考	
現 行				改 正				備 考	
⑤ 場所打擁壁工 ⑤-1 場所打擁壁工(1) 1. 適用範囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。 1-1 適用出来る範囲 1-1-1 小型擁壁 (1) 擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁 (2) コンクリート打設地上高さが施工基面より上の場合、打設地上高さ0m以上2.5m以下、且つ水平打設距離4.5m以下 (3) コンクリート打設地上高さが施工基面より下の場合、打設地上高さ-7.0m以上0m未満、且つ水平打設距離3.5m以下  参考図(バックホウによるコンクリート打設範囲) 1-1-2 重力式擁壁 (1) 擁壁平均高さが1.0mを超え5.0m以下の重力式擁壁 (2) 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満、且つコンクリート打設地上高さが施工基面より上の場合、打設地上高さ0m以上2.5m以下、且つ水平打設距離4.5m以下 (3) 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満、且つコンクリート打設地上高さが施工基面より下の場合、打設地上高さ-7.0m以上0m未満、且つ水平打設距離3.5m以下 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-1-3 もたれ式擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上8.0m以下のもたれ式擁壁 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-1-4 逆T型擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上10.0m以下の逆T型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m3以上0.14t/m3未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-1-5 L型擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上7.0m以下のL型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m3以上0.14t/m3未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 II-2-⑤-1				現行どおり 1-1-4 逆T型擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上10.0m以下の逆T型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m3以上0.14t/m3未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-1-5 L型擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上7.0m以下のL型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m3以上0.14t/m3未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
積算上の注意事項								(控え頁) 1 / 15	

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正	備 考
		現 行	
	(4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が 280m 以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が 8～12cm、粗骨材の最大寸法が 40mm 以下の場合 1－2 適用出来ない範囲 (1) エポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する場合 また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、「第Ⅱ編第 2 章共通工⑤－2 場所打擁壁工(2)」を適用する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 2－1 小型擁壁 床 掘 ↓ 機 材 搬 入 ↓ 基礎材敷均し・転圧 ↓ 均し型枠製作・設置 ↓ 均しコンクリート打設・養生 ↓ 均し型枠撤去 ↓ 足 場 設 置 ↓ 型 枠 製 作 ・ 設 置 ↓ 目 地 材 設 置 ↓ 水 抜 き パ イ プ 設 置 ↓ 止 水 板 設 置 ↓ コンクリート打設・養生 ↓ 型 枠 撤 去 ↓ 吸 出 し 防 止 材 設 置 ↓ 足 場 撤 去 ↓ 裏込砕石敷均し・転圧 ↓ 機 材 搬 出 ↓ 埋 戻 土 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧、均し型枠製作設置・撤去、均しコンクリート打設・養生は、必要に応じて計上する。 3. 目地材、水抜きパイプ、吸出防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。 図2－1 施工フロー(小型擁壁) Ⅱ-2-⑤-2	(2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が 280m 以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が 8～12cm、粗骨材の最大寸法が 40mm 以下の場合 1－2 適用出来ない範囲 (1) エポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する場合 現行どおり	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 2／15

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考
	現 行	改 正	
	2-3 逆T型擁壁, L型擁壁 床 掘 ↓ 機 材 搬 入 ↓ 基礎材敷均し・転圧 ↓ 均し型枠製作・設置 ↓ 均しコンクリート打設・養生 ↓ 均し型枠撤去 ↓ 足 場 設 置 ↓ 鉄 筋 加 工 ・ 組 立 ↓ 型 枠 製 作 ・ 設 置 ↓ 目 地 材 設 置 水 抜 き パ イ プ 設 置 ↓ 止 水 板 設 置 ↓ コンクリート打設・養生 ↓ 型 枠 撤 去 ↓ 吸 出 し 防 止 材 設 置 ↓ 足 場 撤 去 ↓ 裏込砕石敷均し・転圧 ↓ 機 材 搬 出 ↓ 埋 戻 → 床 掘 ↓ 機 材 搬 入 ↓ 基礎材敷均し・転圧 ↓ 均し型枠製作・設置 ↓ 均しコンクリート打設・養生 ↓ 均し型枠撤去 ↓ 足 場 設 置 ↓ 鉄 筋 加 工 ・ 組 立 ↓ 型 枠 製 作 ・ 設 置 ↓ 目 地 材 設 置 水 抜 き パ イ プ 設 置 ↓ 止 水 板 設 置 ↓ コンクリート打設・養生 ↓ 型 枠 撤 去 ↓ 吸 出 し 防 止 材 設 置 ↓ 足 場 撤 去 ↓ 裏込砕石敷均し・転圧 ↓ 機 材 搬 出 ↓ 埋 戻 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は, 必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出し防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。ただし, 吸出し防止材は, 点在で設置する場合を標準としており, 面及び帯状のものを使用する場合は, 別途計上する。 4. ガス圧接が必要な場合は「第Ⅵ編第2章①-2 鉄筋工(ガス圧接工)」により, 別途計上する。 図2-3 施工フロー(逆T型擁壁, L型擁壁)	2-3 逆T型擁壁, L型擁壁 床 掘 ↓ 機 材 搬 入 ↓ 基礎材敷均し・転圧 ↓ 均し型枠製作・設置 ↓ 均しコンクリート打設・養生 ↓ 均し型枠撤去 ↓ 足 場 設 置 ↓ 鉄 筋 加 工 ・ 組 立 ↓ 型 枠 製 作 ・ 設 置 ↓ 目 地 材 設 置 水 抜 き パ イ プ 設 置 ↓ 止 水 板 設 置 ↓ コンクリート打設・養生 ↓ 型 枠 撤 去 ↓ 吸 出 し 防 止 材 設 置 ↓ 足 場 撤 去 ↓ 裏込砕石敷均し・転圧 ↓ 機 材 搬 出 ↓ 埋 戻 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は, 必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出し防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。ただし, 吸出し防止材は, 点在で設置する場合を標準としており, 面及び帯状のものを使用する場合は, 別途計上する。 4. 鉄筋工は, 「第Ⅱ編第4章コンクリート工④鉄筋工」により別途計上する。 図2-3 施工フロー(逆T型擁壁, L型擁壁)	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 3 / 15

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																																																														
		現 行																																																																																																																														
現 行		改 正		備 考																																																																																																																												
表3.3 コンクリート規格 <table><tr><th>積算条件</th><th colspan="2">区分</th></tr><tr><td rowspan="16">コンクリート規格</td><td>21-8-25(20) (普通)</td><td>18-8-40(高炉)</td></tr><tr><td>21-12-25(20) (普通)</td><td>18-12-40(高炉)</td></tr><tr><td>24-8-25(20) (普通)</td><td>21-8-40(高炉)</td></tr><tr><td>24-12-25(20) (普通)</td><td>21-12-40(高炉)</td></tr><tr><td>27-8-25(20) (普通)</td><td>24-8-40(高炉)</td></tr><tr><td>27-12-25(20) (普通)</td><td>24-12-40(高炉)</td></tr><tr><td>18-8-40(普通)</td><td>21-8-25 (早強)</td></tr><tr><td>18-12-40(普通)</td><td>21-12-25 (早強)</td></tr><tr><td>21-8-40(普通)</td><td>24-8-25 (早強)</td></tr><tr><td>21-12-40(普通)</td><td>24-12-25 (早強)</td></tr><tr><td>24-8-40(普通)</td><td>18-8-25(高炉)</td></tr><tr><td>24-12-40(普通)</td><td>18-12-25(高炉)</td></tr><tr><td>21-8-25(20) (高炉)</td><td>各種</td></tr><tr><td>21-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr><tr><td>24-8-25(20) (高炉)</td><td></td></tr><tr><td>24-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr></table> (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.4 小型擁壁 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td><td>・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table> II-2-⑤-6		積算条件	区分		コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)	21-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)	24-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)	24-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)	27-8-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)	27-12-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)	18-8-40(普通)	21-8-25 (早強)	18-12-40(普通)	21-12-25 (早強)	21-8-40(普通)	24-8-25 (早強)	21-12-40(普通)	24-12-25 (早強)	24-8-40(普通)	18-8-25(高炉)	24-12-40(普通)	18-12-25(高炉)	21-8-25(20) (高炉)	各種	21-12-25(20) (高炉)		24-8-25(20) (高炉)		24-12-25(20) (高炉)		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t		K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料	K 3	－		労務	R 1	型わく工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合	Z 3	軽油 バトロール給油		Z 4	－		市場単価	S	－		表3.4 小型擁壁 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)〕パケット容量山積 0.45m³(平積 0.35m³)吊能力 2.9t</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油</td><td>・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)〕 パケット容量 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t		K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料	K 3	－		労務	R 1	型わく工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合	Z 3	軽油 バトロール給油		Z 4	－		市場単価	S	－		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算条件	区分																																																																																																																															
コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)																																																																																																																														
	21-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)																																																																																																																														
	24-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)																																																																																																																														
	24-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)																																																																																																																														
	27-8-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)																																																																																																																														
	27-12-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)																																																																																																																														
	18-8-40(普通)	21-8-25 (早強)																																																																																																																														
	18-12-40(普通)	21-12-25 (早強)																																																																																																																														
	21-8-40(普通)	24-8-25 (早強)																																																																																																																														
	21-12-40(普通)	24-12-25 (早強)																																																																																																																														
	24-8-40(普通)	18-8-25(高炉)																																																																																																																														
	24-12-40(普通)	18-12-25(高炉)																																																																																																																														
	21-8-25(20) (高炉)	各種																																																																																																																														
	21-12-25(20) (高炉)																																																																																																																															
	24-8-25(20) (高炉)																																																																																																																															
	24-12-25(20) (高炉)																																																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																													
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t																																																																																																																														
	K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料																																																																																																																													
	K 3	－																																																																																																																														
労務	R 1	型わく工																																																																																																																														
	R 2	普通作業員																																																																																																																														
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																														
	R 4	運転手(特殊)																																																																																																																														
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																														
	Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合																																																																																																																													
	Z 3	軽油 バトロール給油																																																																																																																														
	Z 4	－																																																																																																																														
市場単価	S	－																																																																																																																														
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																													
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)〕 パケット容量 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 吊能力 2.9t																																																																																																																														
	K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料																																																																																																																													
	K 3	－																																																																																																																														
労務	R 1	型わく工																																																																																																																														
	R 2	普通作業員																																																																																																																														
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																														
	R 4	特殊作業員																																																																																																																														
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																														
	Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合																																																																																																																													
	Z 3	軽油 バトロール給油																																																																																																																														
	Z 4	－																																																																																																																														
市場単価	S	－																																																																																																																														
積算上の注意事項				(控え頁) 4／15																																																																																																																												

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																					
現 行				改 正				備 考																																																																																																			
3－2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>擁壁平均高さ</th><th>コンクリート規格</th><th>基礎碎石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">1.0mを超え 2.0m未満</td><td rowspan="24">(表 3.3)</td><td rowspan="8">無し</td><td rowspan="4">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="24">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td rowspan="8">有り</td><td rowspan="4">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td rowspan="12">2.0m以上 5.0m以下</td><td rowspan="24">(表 3.3)</td><td rowspan="8">無し</td><td rowspan="4">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="8">有り</td><td rowspan="4">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr></table> (注) 1. 上表は、重力式擁壁（擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びクレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、一般足場（擁壁平均高さが2m未満の場合）、単管傾斜足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、手摺先行型枠組足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし化粧型枠は含まない。 2. コンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.04） 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3－8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 Ⅱ-2-⑤-7				擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	1.0mを超え 2.0m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	2.0m以上 5.0m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	3－2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>擁壁平均高さ</th><th>コンクリート規格</th><th>基礎碎石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">1.0mを超え 2.0m未満</td><td rowspan="25">(表 3.3)</td><td rowspan="8">無し</td><td rowspan="4">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="24">－</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td rowspan="16">2.0m以上 5.0m以下</td><td rowspan="16">有り</td><td rowspan="8">無し</td><td rowspan="4">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="16">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="8">有り</td><td rowspan="4">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr></table> (注) 1. 上表は、重力式擁壁（擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びクレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、一般足場（擁壁平均高さが2m未満の場合）、単管傾斜足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、手摺先行型枠組足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし化粧型枠は含まない。 2. コンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.04） 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3－8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。				擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	1.0mを超え 2.0m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	－	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	2.0m以上 5.0m以下	有り	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																																																						
1.0mを超え 2.0m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																																																																						
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																							
				養生工無																																																																																																							
				一般養生																																																																																																							
			有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																							
				養生工無																																																																																																							
				一般養生																																																																																																							
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																							
		有り	無し	一般養生																																																																																																							
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																							
				養生工無																																																																																																							
				一般養生																																																																																																							
有り			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																								
			養生工無																																																																																																								
			一般養生																																																																																																								
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																								
2.0m以上 5.0m以下		(表 3.3)	無し	無し		一般養生																																																																																																					
						特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																					
						仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																					
						養生工無																																																																																																					
				有り		一般養生																																																																																																					
						特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																					
						仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																					
						養生工無																																																																																																					
	有り		無し	一般養生																																																																																																							
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																							
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																							
				養生工無																																																																																																							
有り			一般養生																																																																																																								
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																								
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																								
			養生工無																																																																																																								
擁壁平均高さ	コンクリート規格		基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																																																					
1.0mを超え 2.0m未満	(表 3.3)		無し	無し	一般養生	－																																																																																																					
					特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																						
					養生工無																																																																																																						
					一般養生																																																																																																						
				有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																						
					養生工無																																																																																																						
					一般養生																																																																																																						
		特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																									
		2.0m以上 5.0m以下	有り	無し	無し		一般養生	(表 3.6)																																																																																																			
							特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																				
							仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																				
							養生工無																																																																																																				
有り					一般養生																																																																																																						
					特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																						
					仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																						
					養生工無																																																																																																						
有り				無し	一般養生																																																																																																						
					特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																						
					仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																						
					養生工無																																																																																																						
				有り	一般養生																																																																																																						
					特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																																						
					仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																						
					養生工無																																																																																																						
積算上の注意事項				(控え頁)																																																																																																							
				5／15																																																																																																							

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																									
現 行				改 正				備 考																																																									
6．基礎砕石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 7．擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8．「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工⑩ー2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 9．擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。 <table><caption>表3. 6 圧送管延長距離区分</caption><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="4">圧送管延長 距離区分</td><td>延長無し</td></tr><tr><td>90m 未満</td></tr><tr><td>90m 以上 180m 未満</td></tr><tr><td>180m 以上 280m 以下</td></tr></table>				積算条件	区分	圧送管延長 距離区分	延長無し	90m 未満	90m 以上 180m 未満	180m 以上 280m 以下	6．基礎砕石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 7．擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8．「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工⑩ー2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 9．擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。 <table><caption>表3. 6 圧送管延長距離区分</caption><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="4">圧送管延長 距離区分</td><td>延長無し</td></tr><tr><td>90m 未満</td></tr><tr><td>90m 以上 180m 未満</td></tr><tr><td>180m 以上 280m 以下</td></tr></table>				積算条件	区分	圧送管延長 距離区分	延長無し	90m 未満	90m 以上 180m 未満	180m 以上 280m 以下	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																											
積算条件	区分																																																																
圧送管延長 距離区分	延長無し																																																																
	90m 未満																																																																
	90m 以上 180m 未満																																																																
	180m 以上 280m 以下																																																																
積算条件	区分																																																																
圧送管延長 距離区分	延長無し																																																																
	90m 未満																																																																
	90m 以上 180m 未満																																																																
	180m 以上 280m 以下																																																																
(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 7 重力式擁壁 代表機劣材規格一覧</caption><tr><th>擁壁平均高さ</th><th>項目</th><th>代表機劣材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="12">1mを超え 2m 未満</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014 年規制）〕山積 0.45m³（平積 0.35m³）吊能力 2.9t</td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R 2</td><td>型わく工</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25（20） W/C 60%</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="12">2m 以上 5m 以下</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力 90～110m³/h</td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h（30,100kcal/h）油種 灯油</td></tr><tr><td>K 3</td><td>発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕定格容量 5kVA</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R 2</td><td>型わく工</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 4</td><td>とび工 特殊作業員</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25（20） W/C 60%</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td></tr></table>				擁壁平均高さ	項目	代表機劣材規格	備考	1mを超え 2m 未満	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014 年規制）〕山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）吊能力 2.9t	K 2	－	K 3	－	労務	R 1	普通作業員	R 2	型わく工	R 3	土木一般世話役	R 4	特殊作業員	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20） W/C 60%	Z 2	軽油 バトロール給油	Z 3	－	Z 4	－	市場単価	S	－	2m 以上 5m 以下	機械	K 1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力 90～110m ³ /h	K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h（30,100kcal/h）油種 灯油	K 3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕定格容量 5kVA	労務	R 1	普通作業員	R 2	型わく工	R 3	土木一般世話役	R 4	とび工 特殊作業員	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20） W/C 60%	Z 2	軽油 バトロール給油	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	Z 4	－	市場単価	S	－
擁壁平均高さ	項目	代表機劣材規格	備考																																																														
1mを超え 2m 未満	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014 年規制）〕山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）吊能力 2.9t																																																														
		K 2	－																																																														
		K 3	－																																																														
	労務	R 1	普通作業員																																																														
		R 2	型わく工																																																														
		R 3	土木一般世話役																																																														
		R 4	特殊作業員																																																														
	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20） W/C 60%																																																														
		Z 2	軽油 バトロール給油																																																														
		Z 3	－																																																														
		Z 4	－																																																														
	市場単価	S	－																																																														
2m 以上 5m 以下	機械	K 1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力 90～110m ³ /h																																																														
		K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力 126MJ/h（30,100kcal/h）油種 灯油																																																														
		K 3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕定格容量 5kVA																																																														
	労務	R 1	普通作業員																																																														
		R 2	型わく工																																																														
		R 3	土木一般世話役																																																														
		R 4	とび工 特殊作業員																																																														
	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25（20） W/C 60%																																																														
		Z 2	軽油 バトロール給油																																																														
		Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー																																																														
		Z 4	－																																																														
	市場単価	S	－																																																														
Ⅱ-2-⑤-8																																																																	
積算上の注意事項								(控え頁) 6／15																																																									

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																						
3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3－8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. 基礎碎石の敷均し厚は、20㎝以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工⑩－2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 (2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.9 もたれ式擁壁 代表機材材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 90～110m3/h</td><td></td></tr><tr><td>K 2 業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3 発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量 5kVA</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役 とび工</td><td>一般、特殊養生の場合</td></tr><tr><td>R 4 特殊作業員</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>Z 4 －</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S －</td><td></td></tr></table> Ⅱ-2-⑤-10		表3.9 もたれ式擁壁 代表機材材規格一覧			項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 90～110m3/h		K 2 業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z 4 －		市場単価	S －		3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3－8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. 基礎碎石の敷均し厚は、20㎝以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工⑩－2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 (2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.9 もたれ式擁壁 代表機材材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 90～110m3/h</td><td></td></tr><tr><td>K 2 業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3 発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量 5kVA</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役 とび工</td><td>一般、特殊養生の場合</td></tr><tr><td>R 4 特殊作業員</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>Z 4 －</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S －</td><td></td></tr></table>		表3.9 もたれ式擁壁 代表機材材規格一覧			項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 90～110m3/h		K 2 業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z 4 －		市場単価	S －		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表3.9 もたれ式擁壁 代表機材材規格一覧																																																																								
項目	代表機材材規格	備考																																																																						
機械	K 1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 90～110m3/h																																																																							
	K 2 業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																						
	K 3 発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																						
労務	R 1 普通作業員																																																																							
	R 2 型わく工																																																																							
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																						
	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																						
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																							
	Z 2 軽油 バトロール給油																																																																							
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																						
	Z 4 －																																																																							
市場単価	S －																																																																							
表3.9 もたれ式擁壁 代表機材材規格一覧																																																																								
項目	代表機材材規格	備考																																																																						
機械	K 1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 90～110m3/h																																																																							
	K 2 業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																						
	K 3 発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																						
労務	R 1 普通作業員																																																																							
	R 2 型わく工																																																																							
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																						
	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																						
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																							
	Z 2 軽油 バトロール給油																																																																							
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																						
	Z 4 －																																																																							
市場単価	S －																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 7 / 15																																																																					

改 正 理 由		一部改正	改 正																																																									
			現 行																																																									
現 行			改 正		備 考																																																							
3－4 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>コンクリート規格</th><th>鉄筋量</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.3)</td><td rowspan="12">(表 3.11)</td><td rowspan="12">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="12">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr></table> (注) 1．上表は、逆T型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ベールラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事中用モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2．コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3．設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4．化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5．ベールラインコンクリートの材料費については、「3－8ベールラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6．ガス圧接が必要な場合は、「第Ⅵ編第2章①－2鉄筋工（ガス圧接工）」により別途計上する。 7．基礎砕石の敷均し厚は、20㎝以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 8．擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9．「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工③－2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 Ⅱ-2-⑤-11			コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	3－4 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>コンクリート規格</th><th>鉄筋量</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.3)</td><td rowspan="13">(表 3.11)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="12">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="4">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr></table> (注) 1．上表は、逆T型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ベールラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事中用モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2．コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3．設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4．化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5．ベールラインコンクリートの材料費については、「3－8ベールラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6．ガス圧接が必要な場合は、「第Ⅵ編第2章①－2鉄筋工（ガス圧接工）」により別途計上する。 6．基礎砕石の敷均し厚は、20㎝以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 7．擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8．「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工③－2雪寒仮囲い工」により別途計上する。			コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																							
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																							
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																								
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																								
			有り	一般養生																																																								
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																								
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																								
			有り	無し		一般養生																																																						
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																						
				有り		一般養生																																																						
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																						
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																							
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																							
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																								
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																								
			有り	一般養生																																																								
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																								
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																								
		有り	無し	一般養生																																																								
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																								
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																								
			有り	一般養生																																																								
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																								
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																								
積算上の注意事項						(控え頁) 8／15																																																						

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																								
		現 行																																																																																								
現 行		改 正	備 考																																																																																							
表3. 11 鉄筋量 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="5">鉄筋量</td><td>0.04t／m3 以上 0.06t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.06t／m3 以上 0.08t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.08t／m3 以上 0.10t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.10t／m3 以上 0.12t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.12t／m3 以上 0.14t／m3 未満</td></tr></table> (注) 条件区分の鉄筋量は、ロスを含まない数量とする。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 12 逆T型擁壁 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3／h</td><td></td></tr><tr><td>K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ／h (30, 100kcal／h) 油種 灯油</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役 とび工</td><td>一般、特殊養生の場合</td></tr><tr><td>R 4 特殊作業員</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="8">材料</td><td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W／C 55%</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">Z 2</td><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td><td>鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td><td>鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td><td>鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td><td>鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td><td>鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>Z 3 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td><td></td></tr></table>		積算条件	区分	鉄筋量	0.04t／m3 以上 0.06t／m3 未満	0.06t／m3 以上 0.08t／m3 未満	0.08t／m3 以上 0.10t／m3 未満	0.10t／m3 以上 0.12t／m3 未満	0.12t／m3 以上 0.14t／m3 未満	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3／h		K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ／h (30, 100kcal／h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W／C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合	Z 3 軽油 バトロール給油		Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		表3. 11 鉄筋量 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="5">鉄筋量</td><td>0.04t／m3 以上 0.06t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.06t／m3 以上 0.08t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.08t／m3 以上 0.10t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.10t／m3 以上 0.12t／m3 未満</td></tr><tr><td>0.12t／m3 以上 0.14t／m3 未満</td></tr></table> (注) 条件区分の鉄筋量は、ロスを含まない数量とする。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 11 逆T型擁壁 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3／h</td><td></td></tr><tr><td>K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ／h (30, 100kcal／h) 燃料識別 灯油</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役 とび工</td><td>一般、特殊養生の場合</td></tr><tr><td>R 4 特殊作業員</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W／C 55%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr></table>	積算条件	区分	鉄筋量	0.04t／m3 以上 0.06t／m3 未満	0.06t／m3 以上 0.08t／m3 未満	0.08t／m3 以上 0.10t／m3 未満	0.10t／m3 以上 0.12t／m3 未満	0.12t／m3 以上 0.14t／m3 未満	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3／h		K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ／h (30, 100kcal／h) 燃料識別 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W／C 55%		Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z 4 —	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S —		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算条件	区分																																																																																									
鉄筋量	0.04t／m3 以上 0.06t／m3 未満																																																																																									
	0.06t／m3 以上 0.08t／m3 未満																																																																																									
	0.08t／m3 以上 0.10t／m3 未満																																																																																									
	0.10t／m3 以上 0.12t／m3 未満																																																																																									
	0.12t／m3 以上 0.14t／m3 未満																																																																																									
項目	代表機労材規格	備考																																																																																								
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3／h																																																																																									
	K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ／h (30, 100kcal／h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																								
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																								
労務	R 1 普通作業員																																																																																									
	R 2 型わく工																																																																																									
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																																								
	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W／C 55%																																																																																									
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合																																																																																							
	Z 3 軽油 バトロール給油																																																																																									
	Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																									
積算条件	区分																																																																																									
鉄筋量	0.04t／m3 以上 0.06t／m3 未満																																																																																									
	0.06t／m3 以上 0.08t／m3 未満																																																																																									
	0.08t／m3 以上 0.10t／m3 未満																																																																																									
	0.10t／m3 以上 0.12t／m3 未満																																																																																									
	0.12t／m3 以上 0.14t／m3 未満																																																																																									
項目	代表機労材規格	備考																																																																																								
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3／h																																																																																									
	K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ／h (30, 100kcal／h) 燃料識別 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																								
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																								
労務	R 1 普通作業員																																																																																									
	R 2 型わく工																																																																																									
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																																								
	R 4 特殊作業員	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W／C 55%																																																																																									
	Z 2 軽油 バトロール給油																																																																																									
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
	Z 4 —	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
市場単価	S —																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 9／15																																																																																							

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																									
現 行				改 正				備 考																																																							
3－5 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>コンクリート規格</th><th>鉄筋量</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.3)</td><td rowspan="12">(表 3.11)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="12">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr></table> (注) 1. 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ベアラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ベアラインコンクリートの材料費については、「3－8ベアラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は、「第Ⅵ編第2章①－2鉄筋工（ガス圧接工）」により別途計上する。 7. 基礎砕石の敷均し厚は、20㎝以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工③－2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 Ⅱ-2-⑤-13				コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	3－5 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.12 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>コンクリート規格</th><th>鉄筋量</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.3)</td><td rowspan="12">(表 3.11)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="12">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr></table> (注) 1. 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ベアラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ベアラインコンクリートの材料費については、「3－8ベアラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は、「第Ⅵ編第2章①－2鉄筋工（ガス圧接工）」により別途計上する。 6. 基礎砕石の敷均し厚は、20㎝以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工③－2雪寒仮囲い工」により別途計上する。				コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																										
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
			有り	一般養生																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
		有り	無し	一般養生																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
			有り	一般養生																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																										
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
			有り	一般養生																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
		有り	無し	一般養生																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
			有り	一般養生																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																											
積算上の注意事項								(控え頁) 10／15																																																							

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																																	
現 行				改 正				備 考																																																																																																	
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3. 14 L型擁壁 代表機材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3/h</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>とび工 特殊作業員</td><td>一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="8">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">Z 2</td><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td><td>鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td><td>鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td><td>鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td><td>鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td><td>鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td><td></td></tr></table> 3－6 化粧型枠 「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」による。 3－7 化粧型枠（材料費） 「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－3化粧型枠（材料費）」による。 Ⅱ-2-⑤-14				項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3/h		K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合	Z 3	軽油 バトロール給油		Z 4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3. 13 L型擁壁 代表機材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3/h</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA</td><td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>とび工 特殊作業員</td><td>一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－6 化粧型枠 「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」による。 3－7 化粧型枠（材料費） 「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－3化粧型枠（材料費）」による。				項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3/h		K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z 4	—	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
				項目		代表機材規格	備考																																																																																																		
機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3/h																																																																																																							
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																						
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																						
労務	R 1	普通作業員																																																																																																							
	R 2	型わく工																																																																																																							
	R 3	土木一般世話役																																																																																																							
	R 4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																						
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																																							
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合																																																																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合																																																																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合																																																																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合																																																																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合																																																																																																						
	Z 3	軽油 バトロール給油																																																																																																							
	Z 4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																						
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																																							
項目		代表機材規格	備考																																																																																																						
機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m3/h																																																																																																							
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																						
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																						
労務	R 1	普通作業員																																																																																																							
	R 2	型わく工																																																																																																							
	R 3	土木一般世話役																																																																																																							
	R 4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																						
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																																							
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																							
	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																						
	Z 4	—	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																																							

積算上の注意事項

(控え頁)

11／15

(控え頁)

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																
		現 行																		
3－8 ペーラインコンクリート（材料費） （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 15 ペーラインコンクリート(材料費) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>擁壁種類</th><th>コンクリート規格</th></tr><tr><td>小型擁壁</td><td rowspan="3">(表 3. 3)</td></tr><tr><td>重力式・もたれ式擁壁</td></tr><tr><td>逆T型・L型擁壁</td></tr></table> (注) １．施工費は、⑤－１場所打擁壁工（１）の各種擁壁工の積算条件区分に含まれる。 ２．上表は、場所打擁壁工におけるペーラインコンクリートの材料費（ロス等含む）を含む。 ３．ペーラインコンクリートのロス率は、次表を標準とする。 表3. 16 ロス率 <table><tr><th>材料</th><th>擁壁種類</th><th>ロス率</th></tr><tr><td rowspan="3">ペーラインコンクリート</td><td>小型擁壁</td><td>＋0.06</td></tr><tr><td>重力式・もたれ式擁壁</td><td>＋0.04</td></tr><tr><td>逆T型・L型擁壁</td><td>＋0.02</td></tr></table> 3－9 止水板設置 止水板が必要な場合は、別途計上する。 3－10 裏込碎石 裏込碎石が必要な場合は、「第Ⅱ編第２章②基礎・裏込碎石工」により別途計上する。 Ⅱ-2-⑤-15		擁壁種類	コンクリート規格	小型擁壁	(表 3. 3)	重力式・もたれ式擁壁	逆T型・L型擁壁	材料	擁壁種類	ロス率	ペーラインコンクリート	小型擁壁	＋0.06	重力式・もたれ式擁壁	＋0.04	逆T型・L型擁壁	＋0.02	現行どおり 3－9 鉄筋工 鉄筋工は、「第Ⅱ編第４章コンクリート工④鉄筋工」により別途計上する。 3－10 止水板設置 止水板が必要な場合は、別途計上する。 3－11 裏込碎石 裏込碎石が必要な場合は、「第Ⅱ編第２章②基礎・裏込碎石工」により別途計上する。		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
擁壁種類	コンクリート規格																			
小型擁壁	(表 3. 3)																			
重力式・もたれ式擁壁																				
逆T型・L型擁壁																				
材料	擁壁種類	ロス率																		
ペーラインコンクリート	小型擁壁	＋0.06																		
	重力式・もたれ式擁壁	＋0.04																		
	逆T型・L型擁壁	＋0.02																		
積算上の注意事項				(控え頁) 12／15																

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																										
現 行				改 正		備 考																								
(2) 重力式擁壁 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB226320</td><td>施 工 単 位</td><td>m3</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td>擁壁平均高さ</td><td>コンクリート規格</td><td>基礎砕石の有無</td><td>均しコンクリートの有無</td><td>養生工の種類</td></tr><tr><td>①1mを超え 2m未満 ②2m以上 5m以下</td><td>(表 4.1)</td><td>①無し ②有り</td><td>①無し ②有り</td><td>①一般養生 ②特殊養生 (練炭・ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ) ③仮囲い内ｼﾞﾬｯﾄﾋｰﾀ養生 ④養生工無</td></tr></table> J 6 圧送管延長距離区分 ①延長無し ②90m 未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下 (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工数量は、ロス率を含まない擁壁本体の設計コンクリート数量(壁高欄等を除く)を入力すること。また、圧送管を計上する場合と、計上しない場合に分けて入力すること。 2. J 1条件で①を選択した場合は、J 5条件の③は選択出来ない。 3. J 2条件で②を選択した場合は、コンクリート単価 (Y-0210000) [円／m3] を単価登録すること。 4. J 5条件で①～③を選択した場合は、各養生費が計上される。また、④を選択した場合は①～③以外の養生費を別途計上する。 5. 表3.7で想定するコンクリート打設機械の作業範囲 (30m) を超えない場合は、J 6条件で①を選択する。 6. 作業範囲 (30m) を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を J 6条件の②、③及び④から選択する。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるため留意すること。 7. 化粧型枠が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1 型枠工3－2 化粧型枠」により別途計上する。 8. ベーラインコンクリートの材料費が必要な場合は、ベーラインコンクリート (材料費) (CB226370) により別途計上する。 9. コンクリートの夜間割増しが必要な場合は、J 2条件で②各種を選択し、コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 10. J 5条件③を選択した場合は、足場費を「第Ⅱ編第5章仮設工③－2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。				パッケージコード	CB226320	施 工 単 位	m3	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	①1mを超え 2m未満 ②2m以上 5m以下	(表 4.1)	①無し ②有り	①無し ②有り	①一般養生 ②特殊養生 (練炭・ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ) ③仮囲い内ｼﾞﾬｯﾄﾋｰﾀ養生 ④養生工無	現行どおり (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工数量は、ロス率を含まない擁壁本体の設計コンクリート数量(壁高欄等を除く)を入力すること。また、圧送管を計上する場合と、計上しない場合に分けて入力すること。 2. J 1条件で①を選択した場合は、J 5条件の③は選択出来ない。 3. J 1条件で①を選択した場合は、J 6条件は選択する必要はない。 4. J 2条件で②を選択した場合は、コンクリート単価 (Y-0210000) [円／m3] を単価登録すること。 5. J 5条件で①～③を選択した場合は、各養生費が計上される。また、④を選択した場合は①～③以外の養生費を別途計上する。 6. 表3.7で想定するコンクリート打設機械の作業範囲 (30m) を超えない場合は、J 6条件で①を選択する。 7. 作業範囲 (30m) を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を J 6条件の②、③及び④から選択する。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるため留意すること。 8. 化粧型枠が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1 型枠工3－2 化粧型枠」により別途計上する。 9. ベーラインコンクリートの材料費が必要な場合は、ベーラインコンクリート (材料費) (CB226370) により別途計上する。 10. コンクリートの夜間割増しが必要な場合は、J 2条件で②各種を選択し、コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 11. J 5条件③を選択した場合は、足場費を「第Ⅱ編第5章仮設工③－2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。		記載の変更
パッケージコード	CB226320	施 工 単 位	m3																											
施 工 区 分	入 力 条 件																													
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																									
	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																									
	①1mを超え 2m未満 ②2m以上 5m以下	(表 4.1)	①無し ②有り	①無し ②有り	①一般養生 ②特殊養生 (練炭・ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ) ③仮囲い内ｼﾞﾬｯﾄﾋｰﾀ養生 ④養生工無																									
積算上の注意事項						(控え頁) 13／15																								

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																	
現 行					改 正					備 考																																																																													
(4) 逆T型擁壁 パッケージコード CB226340 施 工 単 位 m3 <table><tr><th>施 工 区 分</th><th colspan="4">入 力 条 件</th></tr><tr><th rowspan="4">各 種</th><th>J 1</th><th>J 2</th><th>J 3</th><th>J 4</th></tr><tr><td>コンクリート 規格</td><td>鉄筋量</td><td>鉄筋工の労務補正</td><td>基礎碎石 の有無</td></tr><tr><td></td><td></td><td>①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける 場合(1.375)</td><td>①無し ②有り</td></tr><tr><td>(表 4.1)</td><td>(表 4.2)</td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><th>J 5</th><th>J 6</th><th>J 7</th></tr><tr><td>均しコンクリート の有無</td><td>養生工の種類</td><td>圧送管延長距離区分</td></tr><tr><td>①無し ②有り</td><td>①一般養生 ②特殊養生(練炭・ジェット等) ③仮囲い内ジェット等養生</td><td>①延長無し ②90m 未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下</td></tr></table> (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない擁壁本体の設計 コンクリート数量(壁高欄等を除く)を入力すること。また、圧送管を計上する場合と、計上しない場合 に分けて入力すること。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。 3. J 3 条件は「第Ⅵ編第2章市場単価①ー1 鉄筋工」による補正である。 4. J 3 条件で夜間補正した場合は、労務費調整係数も入力すること。 5. 表 3.12 で想定するコンクリート打設機械の作業範囲 (30m) を超えない場合は、J 7 条件で①を選択す る。 6. 作業範囲 (30m) を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を J 7 条件の②、③及び④ から選択する。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるた め留意すること。 7. 化粧型枠が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②ー1 型枠工3ー2 化粧型枠」により別途計上 する。 8. ベーラインコンクリートの材料費が必要な場合は、ベーラインコンクリート (材料費) (CB226370) に より別途計上する。 9. コンクリートの夜間割増しが必要な場合は、J 1 条件で②各種を選択し、コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 10. J 6 条件で③を選択した場合は、足場費を「第Ⅱ編第5章仮設工③ー2 雪寒仮囲い工」により別途計上 する。 表4.2 鉄筋量区分 <table><tr><th>鉄筋量区分</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>0.04t/㎡以上0.06t/㎡未満</td><td>①</td></tr><tr><td>0.06t/㎡以上0.08t/㎡未満</td><td>②</td></tr><tr><td>0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満</td><td>③</td></tr><tr><td>0.10t/㎡以上0.12t/㎡未満</td><td>④</td></tr><tr><td>0.12t/㎡以上0.14t/㎡未満</td><td>⑤</td></tr></table> Ⅱ-2-⑤-19					施 工 区 分	入 力 条 件				各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	コンクリート 規格	鉄筋量	鉄筋工の労務補正	基礎碎石 の有無			①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける 場合(1.375)	①無し ②有り	(表 4.1)	(表 4.2)			J 5	J 6	J 7	均しコンクリート の有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	①無し ②有り	①一般養生 ②特殊養生(練炭・ジェット等) ③仮囲い内ジェット等養生	①延長無し ②90m 未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下	鉄筋量区分	入力番号	0.04t/㎡以上0.06t/㎡未満	①	0.06t/㎡以上0.08t/㎡未満	②	0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満	③	0.10t/㎡以上0.12t/㎡未満	④	0.12t/㎡以上0.14t/㎡未満	⑤	(4) 逆T型擁壁 パッケージコード CB226340 施 工 単 位 m3 <table><tr><th>施 工 区 分</th><th colspan="4">入 力 条 件</th></tr><tr><th rowspan="4">各 種</th><th>J 1</th><th>J 2</th><th>J 3</th><th>J 4</th></tr><tr><td>コンクリート 規格</td><td>基礎碎石 の有無</td><td>均しコンクリート の有無</td><td>養生工の種類</td></tr><tr><td>(表 4.1)</td><td>①無し ②有り</td><td>①無し ②有り</td><td>①一般養生 ②特殊養生(練炭・ジェット等) ③仮囲い内ジェット等養生</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> J 5 圧送管延長距離区分 ①延長無し ②90m 未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下 (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない擁壁本体の設計 コンクリート数量(壁高欄等を除く)を入力すること。また、圧送管を計上する場合と、計上しない場合 に分けて入力すること。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。 ③ J 3 条件は「第Ⅵ編第2章市場単価①ー1 鉄筋工」による補正である。 ④ J 3 条件で夜間補正した場合は、労務費調整係数も入力すること。 3. 表 3.11 で想定するコンクリート打設機械の作業範囲 (30m) を超えない場合は、J 5 条件で①を選択す る。 4. 作業範囲 (30m) を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を J 5 条件の②、③及び④ から選択する。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるた め留意すること。 5. 化粧型枠が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②ー1 型枠工3ー2 化粧型枠」により別途計上 する。 6. ベーラインコンクリートの材料費が必要な場合は、ベーラインコンクリート (材料費) (CB226370) に より別途計上する。 7. コンクリートの夜間割増しが必要な場合は、J 1 条件で②各種を選択し、コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 8. J 4 条件で③を選択した場合は、足場費を「第Ⅱ編第5章仮設工③ー2 雪寒仮囲い工」により別途計上 する。 表4.2 鉄筋量区分 <table><tr><th>鉄筋量区分</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>0.04t/㎡以上0.06t/㎡未満</td><td>①</td></tr><tr><td>0.06t/㎡以上0.08t/㎡未満</td><td>②</td></tr><tr><td>0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満</td><td>③</td></tr><tr><td>0.10t/㎡以上0.12t/㎡未満</td><td>④</td></tr><tr><td>0.12t/㎡以上0.14t/㎡未満</td><td>⑤</td></tr></table>					施 工 区 分	入 力 条 件				各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	コンクリート 規格	基礎碎石 の有無	均しコンクリート の有無	養生工の種類	(表 4.1)	①無し ②有り	①無し ②有り	①一般養生 ②特殊養生(練炭・ジェット等) ③仮囲い内ジェット等養生					鉄筋量区分	入力番号	0.04t/㎡以上0.06t/㎡未満	①	0.06t/㎡以上0.08t/㎡未満	②	0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満	③	0.10t/㎡以上0.12t/㎡未満	④	0.12t/㎡以上0.14t/㎡未満	⑤	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																						
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																			
	コンクリート 規格	鉄筋量	鉄筋工の労務補正	基礎碎石 の有無																																																																																			
			①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける 場合(1.375)	①無し ②有り																																																																																			
	(表 4.1)	(表 4.2)																																																																																					
J 5	J 6	J 7																																																																																					
均しコンクリート の有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																																					
①無し ②有り	①一般養生 ②特殊養生(練炭・ジェット等) ③仮囲い内ジェット等養生	①延長無し ②90m 未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下																																																																																					
鉄筋量区分	入力番号																																																																																						
0.04t/㎡以上0.06t/㎡未満	①																																																																																						
0.06t/㎡以上0.08t/㎡未満	②																																																																																						
0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満	③																																																																																						
0.10t/㎡以上0.12t/㎡未満	④																																																																																						
0.12t/㎡以上0.14t/㎡未満	⑤																																																																																						
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																						
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																			
	コンクリート 規格	基礎碎石 の有無	均しコンクリート の有無	養生工の種類																																																																																			
	(表 4.1)	①無し ②有り	①無し ②有り	①一般養生 ②特殊養生(練炭・ジェット等) ③仮囲い内ジェット等養生																																																																																			
鉄筋量区分	入力番号																																																																																						
0.04t/㎡以上0.06t/㎡未満	①																																																																																						
0.06t/㎡以上0.08t/㎡未満	②																																																																																						
0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満	③																																																																																						
0.10t/㎡以上0.12t/㎡未満	④																																																																																						
0.12t/㎡以上0.14t/㎡未満	⑤																																																																																						
積算上の注意事項										(控え頁) 14／15																																																																													

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																														
現 行					改 正					備 考																																																																																																																																										
(5) L型擁壁 <table><tr><td colspan="2">パッケージコード</td><td colspan="2">CB226350</td><td colspan="2">施 工 単 位</td><td colspan="2">m3</td></tr><tr><td colspan="2">施 工 区 分</td><td colspan="6">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td colspan="3">J 3</td><td colspan="2">J 4</td></tr><tr><td>コンクリート規格</td><td>鉄筋量</td><td colspan="3">鉄筋工の労務補正</td><td colspan="2">基礎碎石の有無</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="3">①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける場合(1.375)</td><td colspan="2">①無し ②有り</td></tr><tr><td>(表 4.1)</td><td>(表 4.2)</td><td colspan="3"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">J 5</td><td colspan="2">J 6</td><td colspan="4">J 7</td></tr><tr><td colspan="2">均しコンクリートの有無</td><td colspan="2">養生工の種類</td><td colspan="4">圧送管延長距離区分</td></tr><tr><td colspan="2">①無し ②有り</td><td colspan="2">①一般養生 ②特殊養生（練炭・ジェットヒータ） ③仮囲い内ジェットヒータ養生</td><td colspan="4">①延長無し ②90m未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下</td></tr></table> (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない擁壁本体の設計コンクリート数量（壁高欄等を除く）を入力すること。また、圧送管を計上する場合と、計上しない場合に分けて入力すること。 2. J 1 条件で㊸を選択した場合は、コンクリート単価（Y-0210000）[円／m3]を単価登録すること。 3. J 3 条件は「第Ⅵ編第2章市場単価①－1 鉄筋工」による補正である。 4. J 3 条件で夜間補正した場合は、労務費調整係数も入力すること。 5. 表 3.14 で想定するコンクリート打設機械の作業範囲（30m）を超えない場合は、J 7 条件で①を選択する。 6. 作業範囲（30m）を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を J 7 条件の②、③及び④から選択する。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるため留意すること。 7. 化粧型枠が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1 型枠工 3－2 化粧型枠」により別途計上する。 8. ペーラインコンクリートの材料費が必要な場合は、ペーラインコンクリート（材料費）（CB226370）により別途計上する。 9. コンクリートの夜間割増しが必要な場合は、J 1 条件で㊸各種を選択し、コンクリート単価（Y-0210000）[円/m3]に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 10. J 6 条件で③を選択した場合は、足場費を「第Ⅱ編第5章仮設工③－2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。					パッケージコード		CB226350		施 工 単 位		m3		施 工 区 分		入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3			J 4		コンクリート規格	鉄筋量	鉄筋工の労務補正			基礎碎石の有無				①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける場合(1.375)			①無し ②有り		(表 4.1)	(表 4.2)						J 5		J 6		J 7				均しコンクリートの有無		養生工の種類		圧送管延長距離区分				①無し ②有り		①一般養生 ②特殊養生（練炭・ジェットヒータ） ③仮囲い内ジェットヒータ養生		①延長無し ②90m未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下				(5) L型擁壁 <table><tr><td colspan="2">パッケージコード</td><td colspan="2">CB226350</td><td colspan="2">施 工 単 位</td><td colspan="2">m3</td></tr><tr><td colspan="2">施 工 区 分</td><td colspan="6">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td colspan="3">J 3</td><td colspan="2">J 4</td></tr><tr><td>コンクリート規格</td><td>基礎碎石の有無</td><td colspan="3">均しコンクリートの有無</td><td colspan="2">養生工の種類</td></tr><tr><td></td><td>①無し ②有り</td><td colspan="3"></td><td colspan="2">①一般養生 ②特殊養生（練炭・ジェットヒータ） ③仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>(表 4.1)</td><td></td><td colspan="3"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">J 5</td><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="2">圧送管延長距離区分</td><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="2">①延長無し ②90m未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下</td><td colspan="6"></td></tr></table> (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない擁壁本体の設計コンクリート数量（壁高欄等を除く）を入力すること。また、圧送管を計上する場合と、計上しない場合に分けて入力すること。 2. J 1 条件で㊸を選択した場合は、コンクリート単価（Y-0210000）[円／m3]を単価登録すること。 3. J 3 条件は「第Ⅵ編第2章市場単価①－1 鉄筋工」による補正である 4. J 3 条件で夜間補正した場合は、労務費調整係数も入力すること 3. 表 3.13 で想定するコンクリート打設機械の作業範囲（30m）を超えない場合は、J 5 条件で①を選択する。 4. 作業範囲（30m）を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を J 5 条件の②、③及び④から選択する。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるため留意すること。 5. 化粧型枠が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1 型枠工 3－2 化粧型枠」により別途計上する。 6. ペーラインコンクリートの材料費が必要な場合は、ペーラインコンクリート（材料費）（CB226370）により別途計上する。 7. コンクリートの夜間割増しが必要な場合は、J 1 条件で㊸各種を選択し、コンクリート単価（Y-0210000）[円/m3]に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 8. J 4 条件で③を選択した場合は、足場費を「第Ⅱ編第5章仮設工③－2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。					パッケージコード		CB226350		施 工 単 位		m3		施 工 区 分		入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3			J 4		コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無			養生工の種類			①無し ②有り				①一般養生 ②特殊養生（練炭・ジェットヒータ） ③仮囲い内ジェットヒータ養生		(表 4.1)							J 5								圧送管延長距離区分								①延長無し ②90m未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下								記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
パッケージコード		CB226350		施 工 単 位		m3																																																																																																																																														
施 工 区 分		入 力 条 件																																																																																																																																																		
各 種	J 1	J 2	J 3			J 4																																																																																																																																														
	コンクリート規格	鉄筋量	鉄筋工の労務補正			基礎碎石の有無																																																																																																																																														
			①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける場合(1.375)			①無し ②有り																																																																																																																																														
	(表 4.1)	(表 4.2)																																																																																																																																																		
J 5		J 6		J 7																																																																																																																																																
均しコンクリートの有無		養生工の種類		圧送管延長距離区分																																																																																																																																																
①無し ②有り		①一般養生 ②特殊養生（練炭・ジェットヒータ） ③仮囲い内ジェットヒータ養生		①延長無し ②90m未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下																																																																																																																																																
パッケージコード		CB226350		施 工 単 位		m3																																																																																																																																														
施 工 区 分		入 力 条 件																																																																																																																																																		
各 種	J 1	J 2	J 3			J 4																																																																																																																																														
	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無			養生工の種類																																																																																																																																														
		①無し ②有り				①一般養生 ②特殊養生（練炭・ジェットヒータ） ③仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																																																																														
	(表 4.1)																																																																																																																																																			
J 5																																																																																																																																																				
圧送管延長距離区分																																																																																																																																																				
①延長無し ②90m未満 ③90m 以上 180m 未満 ④180m 以上 280m 以下																																																																																																																																																				
II-2-⑤-20																																																																																																																																																				
積算上の注意事項										(控え頁) 15／15																																																																																																																																										

工 種	場所打擁壁工(2)
-----	-----------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																		
現 行				改 正		備 考																																																																																																
表2. 2 生コンクリート規格 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="29">生コンクリート規格</td><td>21-8-25 (20) (普通)</td><td>24-12-25 (20) (高炉)</td></tr><tr><td>21-12-25 (20) (普通)</td><td>18-8-40 (高炉)</td></tr><tr><td>24-8-25 (20) (普通)</td><td>18-12-40 (高炉)</td></tr><tr><td>24-12-25 (20) (普通)</td><td>21-8-40 (高炉)</td></tr><tr><td>27-8-25 (20) (普通)</td><td>21-12-40 (高炉)</td></tr><tr><td>27-12-25 (20) (普通)</td><td>24-8-40 (高炉)</td></tr><tr><td>18-8-40 (普通)</td><td>24-12-40 (高炉)</td></tr><tr><td>18-12-40 (普通)</td><td>21-8-25 (早強)</td></tr><tr><td>21-8-40 (普通)</td><td>21-12-25 (早強)</td></tr><tr><td>21-12-40 (普通)</td><td>24-8-25 (早強)</td></tr><tr><td>24-8-40 (普通)</td><td>24-12-25 (早強)</td></tr><tr><td>24-12-40 (普通)</td><td>18-8-25 (高炉)</td></tr><tr><td>21-8-25 (20) (高炉)</td><td>18-12-25 (高炉)</td></tr><tr><td>21-12-25 (20) (高炉)</td><td>各種</td></tr><tr><td>24-8-25 (20) (高炉)</td><td></td></tr></table> (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表2. 3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m³/h</td><td></td></tr><tr><td>K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td><td>・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA</td><td>・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4 運転手 (特殊)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td><td></td></tr><tr><td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>Z3 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table> 2-2 型枠工 型枠工は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。 2-3 足場工 足場工は、「第Ⅱ編第5章仮設工⑦-1足場工」により別途計上する。 2-4 その他 上記以外で必要なものについては、該当する各工種により別途計上する。 Ⅱ-2-⑤-23				積算条件	区分	生コンクリート規格	21-8-25 (20) (普通)	24-12-25 (20) (高炉)	21-12-25 (20) (普通)	18-8-40 (高炉)	24-8-25 (20) (普通)	18-12-40 (高炉)	24-12-25 (20) (普通)	21-8-40 (高炉)	27-8-25 (20) (普通)	21-12-40 (高炉)	27-12-25 (20) (普通)	24-8-40 (高炉)	18-8-40 (普通)	24-12-40 (高炉)	18-12-40 (普通)	21-8-25 (早強)	21-8-40 (普通)	21-12-25 (早強)	21-12-40 (普通)	24-8-25 (早強)	24-8-40 (普通)	24-12-25 (早強)	24-12-40 (普通)	18-8-25 (高炉)	21-8-25 (20) (高炉)	18-12-25 (高炉)	21-12-25 (20) (高炉)	各種	24-8-25 (20) (高炉)		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h		K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z3 軽油 バトロール給油		Z4 ー		市場単価	S ー		現行どおり		(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表2. 3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m³/h</td><td></td></tr><tr><td>K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA</td><td>・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 燃料識別 灯油</td><td>・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4 運転手 (特殊)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td><td></td></tr><tr><td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td></tr><tr><td>Z3 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table> 2-2 型枠工 型枠工は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。 2-3 足場工 足場工は、「第Ⅱ編第5章仮設工⑦-1足場工」により別途計上する。 2-4 その他 上記以外で必要なものについては、該当する各工種により別途計上する。	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h		K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 燃料識別 灯油	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z3 軽油 バトロール給油		Z4 ー		市場単価	S ー		記載の変更 (歩掛改定に伴う)
積算条件	区分																																																																																																					
生コンクリート規格	21-8-25 (20) (普通)	24-12-25 (20) (高炉)																																																																																																				
	21-12-25 (20) (普通)	18-8-40 (高炉)																																																																																																				
	24-8-25 (20) (普通)	18-12-40 (高炉)																																																																																																				
	24-12-25 (20) (普通)	21-8-40 (高炉)																																																																																																				
	27-8-25 (20) (普通)	21-12-40 (高炉)																																																																																																				
	27-12-25 (20) (普通)	24-8-40 (高炉)																																																																																																				
	18-8-40 (普通)	24-12-40 (高炉)																																																																																																				
	18-12-40 (普通)	21-8-25 (早強)																																																																																																				
	21-8-40 (普通)	21-12-25 (早強)																																																																																																				
	21-12-40 (普通)	24-8-25 (早強)																																																																																																				
	24-8-40 (普通)	24-12-25 (早強)																																																																																																				
	24-12-40 (普通)	18-8-25 (高炉)																																																																																																				
	21-8-25 (20) (高炉)	18-12-25 (高炉)																																																																																																				
	21-12-25 (20) (高炉)	各種																																																																																																				
	24-8-25 (20) (高炉)																																																																																																					
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																			
	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h																																																																																																				
		K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																			
		K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																			
	労務	R1 普通作業員																																																																																																				
		R2 特殊作業員																																																																																																				
		R3 土木一般世話役																																																																																																				
		R4 運転手 (特殊)																																																																																																				
	材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																																				
		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																			
		Z3 軽油 バトロール給油																																																																																																				
		Z4 ー																																																																																																				
	市場単価	S ー																																																																																																				
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																			
機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h																																																																																																					
	K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 5kVA	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																				
	K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 燃料識別 灯油	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																				
労務	R1 普通作業員																																																																																																					
	R2 特殊作業員																																																																																																					
	R3 土木一般世話役																																																																																																					
	R4 運転手 (特殊)																																																																																																					
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																																					
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																				
	Z3 軽油 バトロール給油																																																																																																					
	Z4 ー																																																																																																					
市場単価	S ー																																																																																																					
積算上の注意事項		(控え頁) 1/1																																																																																																				